

～相関性と需給動向からみた日経平均株価とドル円の動向～

日経平均株価とドル円の相関

2012年10月以降(データ期間:2012年10月第1週から2014年4月第4週、週間ベース)の日経平均株価と米ドル円の週次騰落率の相関係数※をみると、0.687と高く、ドル円が円安ドル高傾向で推移した時期には、日経平均株価も上昇傾向で推移しました。(図表①)

※相関係数は+1に近いほど相関性が高くなります

ドル円IMM先物ポジション(非商業)とドル円の関係

ドル円IMM先物ポジション(非商業)とドル円の関係をみてみましょう。ドル円IMM先物ポジション(非商業)は、2012年10月にドルロングポジションに転換し、その後のドル高トレンドの下支えになったと考えられます。

直近、ドルロングポジションは若干減少したものの、ロングポジションは維持されています。(図表②)

ドル円相場は、昨年12月に105円台の高値をつけた後、もみあいの展開となっています。このもみあいを抜け出しドル高の方向へ進んだ場合には、同時にドルロングポジションが増加する可能性があると思われます。

日本株式の外国人投資家売買動向

日経平均株価は、ドル円相場と同じく昨年12月以降下落し、もみあいの展開となっています。

直近の日本株式市場では、外国人投資家の売買動向が注目されています。外国人投資家の買越し額(売買代金ベース)は昨年4月にピークをつけ、同8月には売越しになりました。その後、再び買越しに転じましたが、2014年に入り、再び売越しとなりました。(図表③)

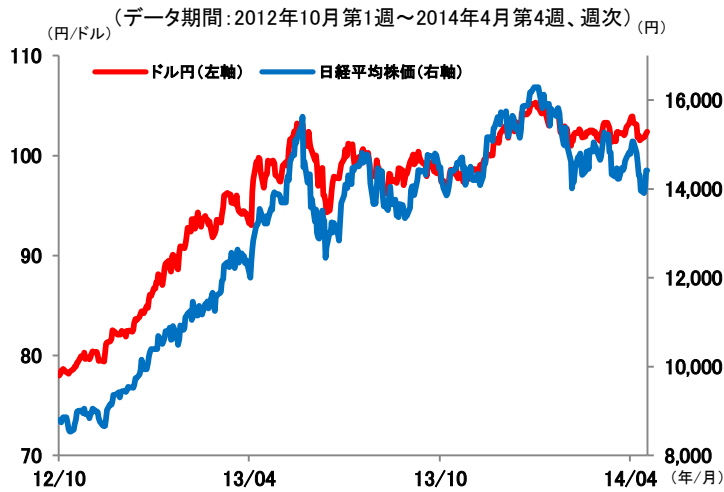
外国人投資家 売買動向(暦年) 外国人投資家売買動向(月次)

	(億円)		(億円)		(億円)
2008年	-37,085	2012年7月	-2,133	2013年7月	9,421
2009年	17,775	2012年8月	-338	2013年8月	-1,193
2010年	32,105	2012年9月	-148	2013年9月	8,064
2011年	19,725	2012年10月	1,585	2013年10月	6,949
2012年	29,265	2012年11月	4,925	2013年11月	22,993
2013年	151,196	2012年12月	15,448	2013年12月	21,725
		2013年1月	12,379	2014年1月	-11,696
		2013年2月	8,542	2014年2月	-829
		2013年3月	16,553	2014年3月	-5,806

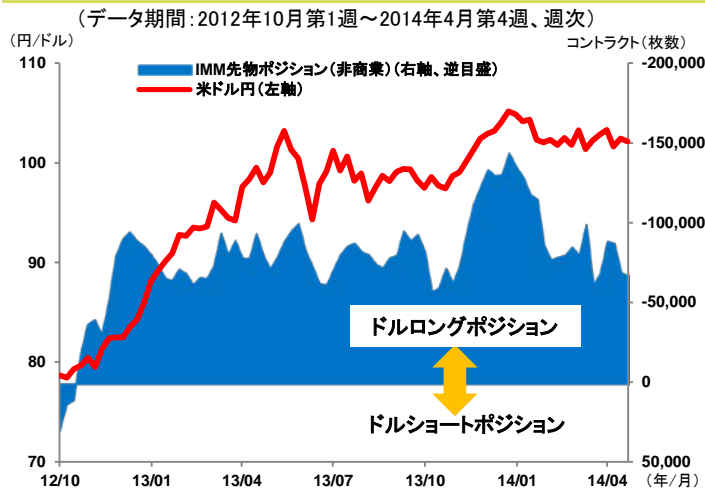
(A)

今後、日経平均株価とドル円相場が高い相関を維持しつつ、IMM先物ポジション(非商業)のドルロングポジションが増加し、日本株式の外国人投資家の買越し額が増加した場合には、一段のドル高、株高の可能性もあると思われます。

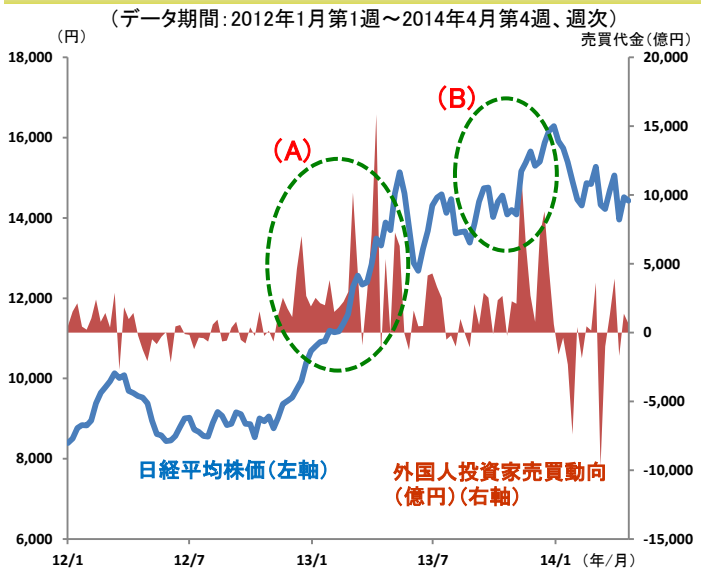
【図表①:日経平均株価とドル円の推移】



【図表②:ドル円IMM先物ポジション(非商業)とドル円の推移】



【図表③:外国人投資家売買動向と日経平均株価の推移】



(出所:図表①、②、③は、ブルームバーグのデータよりニッセイアセットマネジメントが作成)

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。